

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月8日

上場取引所 東

TEL 03-3231-6811

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	18,762	—	2,541	—	2,718	—	1,923	—
20年3月期第2四半期	20,434	2.3	2,346	△2.9	2,467	△3.6	1,356	△3.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	67.94	—	—	—
20年3月期第2四半期	47.91	—	—	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	79,547	89.3	71,013	88.7	—	—	2,508.95	—
20年3月期	80,439	86.7	69,759	84.6	—	—	2,464.58	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 71,013百万円 20年3月期 69,759百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	36,700	△10.1	4,200	△18.3	4,500	△18.1	2,900	△2.3	102.46

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有

[(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 28,800,000株 20年3月期 28,800,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 495,867株 20年3月期 495,393株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 28,304,447株 20年3月期第2四半期 28,305,228株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。  
 なお、現時点において、実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期累計期間の売上高は、18,762 百万円と前年同期に比べ 8.2%減少しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、本年 4 月に実施された薬価改定（業界平均 5.2%の引き下げ）の影響を受ける中、「注射用フサン（蛋白分解酵素阻害剤）」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり前年同期比 16.5%減となりましたが、「ソルバダ錠（抗 HIV 薬）」は前年同期比 59.2%増と伸長し、当社の得意とする皮膚疾患領域におきましても「ドボネックス軟膏（尋常性乾癬治療剤）」が昨年 12 月をもってアステラス製薬株式会社が共同販売を終了したこと等により前年同期比 437.8%増、「ゼフナート（外用抗真菌薬）」は昨年 7 月から追加剤型の販売を開始したことにより前年同期比 36.2%増、「アンテベート（外用副腎皮質ホルモン剤）」も前年同期比 4.9%増とそれぞれ伸長しました。

なお、「強力ネオミノファーゲンシー（肝臓疾患用剤・アレルギー用薬）」につきましては、仕入先である株式会社ミノファーゲン製薬（以下、「ミノファーゲン社」との取引基本契約の終了に伴い前事業年度末をもって販売を終了しております。

当第 2 四半期累計期間の利益面につきましては、売上原価が 6,967 百万円と前年同期に比べ 13.2%減少し、また、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したこと等により 9,253 百万円と前年同期に比べ 8.1%減少したことから、営業利益は 2,541 百万円（前年同期比 8.3%増）、経常利益は 2,718 百万円（前年同期比 10.2%増）となりました。四半期純利益はミノファーゲン社との取引基本契約の段階的終了に伴う一時金収入を特別利益に計上したこと等により 1,923 百万円と前年同期に比べ 41.8%増加しました。

なお、「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期会計期間末の総資産は、79,547 百万円と前事業年度末に比べ 891 百万円（1.1%）減少しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は 1,602 百万円、有価証券は 797 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金は 1,080 百万円、現金及び預金は 619 百万円、投資その他の資産は 1,325 百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

総負債は、8,534 百万円と前事業年度末に比べ 2,145 百万円（20.1%）減少しました。これは、買掛金が 1,472 百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、71,013 百万円と前事業年度末に比べ 1,254 百万円（1.8%）増加しました。これは、利益剰余金が 1,441 百万円増加したこと等によるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、40,523 百万円と前事業年度末に比べ 1,033 百万円（2.6%）増加しました。

当第 2 四半期累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税引前四半期純利益が 3,206 百万円、売上債権の減少額が 1,080 百万円となりましたが、仕入債務の減少額が 1,472 百万円、法人税等の支払額が 1,335 百万円となったこと等により 1,606 百万円の収入となりました。

当第 2 四半期累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有価証券の償還による収入が 893 百万円、投資有価証券の償還による収入が 500 百万円ありましたが、有価証券の取得による支出が 996 百万円、有形固定資産の取得による支出が 502 百万円となったことにより 90 百万円の支出となりました。

当第 2 四半期累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払いにより 481 百万円の支出となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、前回発表(平成 20 年 4 月 30 日「平成 20 年 3 月期決算短信(非連結)」)の予想数値を修正しております。

売上高は、「注射用フサン」の販売状況が計画を下回っているものの、「ツルバダ錠」および「ドボネックス軟膏」の販売状況は計画を上回って推移していること等により、全体では当初の計画を上回る見込みです。

一方、利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上原価の増加に加え、販売費及び一般管理費が当初の計画より増加する見込みとなったことから、当初の予想数値を変更しておりません。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は367億円(対前回予想2.2%増)、営業利益は42億円、経常利益は45億円、当期純利益は29億円を見込んでおります。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。

##### ② 有形固定資産の耐用年数の変更

機械及び装置については、従来、7 年を耐用年数としておりましたが、平成 20 年度税制改正を契機として経済耐用年数を見直した結果、第 1 四半期会計期間より 8 年に変更しております。

なお、この変更により、当第 2 四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ 18 百万円増加しております。

## 5. 【四半期財務諸表等】

## (1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	当第 2 四半期会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,466	6,085
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	32,562	30,959
受取手形及び売掛金	14,228	15,308
有価証券	4,192	3,394
商品	1,009	1,256
製品	1,129	984
原材料	953	1,018
仕掛品	371	561
その他	1,098	890
流動資産合計	61,010	60,458
固定資産		
有形固定資産	6,840	6,839
無形固定資産	790	908
投資その他の資産	10,906	12,232
固定資産合計	18,537	19,980
資産合計	79,547	80,439

(単位: 百万円)

	当第 2 四半期会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,986	4,458
未払法人税等	1,428	1,492
賞与引当金	1,154	1,085
役員賞与引当金	15	31
返品調整引当金	3	3
その他	1,935	2,578
流動負債合計	7,525	9,649
固定負債		
退職給付引当金	583	598
その他	425	431
固定負債合計	1,008	1,030
負債合計	8,534	10,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	59,980	58,538
自己株式	△853	△852
株主資本合計	70,733	69,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	280	466
評価・換算差額等合計	280	466
純資産合計	71,013	69,759
負債純資産合計	79,547	80,439

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第 2 四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第 2 四半期累計期間 〔 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日 〕
売上高	18,762
売上原価	6,967
売上総利益	11,795
販売費及び一般管理費	
販売促進費	1,559
給料及び手当	2,112
賞与引当金繰入額	1,006
研究開発費	461
その他	4,113
販売費及び一般管理費合計	9,253
営業利益	2,541
営業外収益	
受取利息	148
受取配当金	18
その他	12
営業外収益合計	179
営業外費用	
為替差損	1
その他	1
営業外費用合計	2
経常利益	2,718
特別利益	
取引契約終了一時金	600
特別利益合計	600
特別損失	
固定資産除却損	18
ゴルフ会員権評価損	11
減損損失	83
特別損失合計	112
税引前四半期純利益	3,206
法人税等	1,283
四半期純利益	1,923

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第 2 四半期累計期間 自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	3,206
減価償却費	631
減損損失	83
受取利息及び受取配当金	△167
固定資産除売却損益 (△は益)	18
ゴルフ会員権評価損	11
売上債権の増減額 (△は増加)	1,080
たな卸資産の増減額 (△は増加)	356
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,472
未払金の増減額 (△は減少)	△555
その他	△423
小計	2,768
利息及び配当金の受取額	174
法人税等の支払額	△1,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	50
有価証券の取得による支出	△996
有価証券の売却及び償還による収入	893
有形固定資産の取得による支出	△502
無形固定資産の取得による支出	△34
投資有価証券の売却及び償還による収入	500
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,033
現金及び現金同等物の期首残高	39,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,523

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号) を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期会計期間 (自 平成 20 年 7 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 2 四半期累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## (要約) 前中間損益計算書

区分	前中間会計期間 〔自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日〕		百分比 (%)
	金額 (百万円)		
I 売上高			
1 製商品売上高	20,287		
2 不動産賃貸収入	147	20,434	100.0
II 売上原価			
1 製商品売上原価	7,991		
2 不動産賃貸原価	33	8,024	39.3
売上総利益		12,409	60.7
返品調整引当金戻入額		4	0.0
返品調整引当金繰入額		3	0.0
差引売上総利益		12,410	60.7
III 販売費及び一般管理費		10,063	49.2
営業利益		2,346	11.5
IV 営業外収益		165	0.8
V 営業外費用		45	0.2
経常利益		2,467	12.1
VI 特別利益		—	—
VII 特別損失		16	0.1
税引前中間(当期)純利益		2,450	12.0
法人税、住民税及び事業税	1,094		
法人税等調整額	—	1,094	5.4
中間(当期)純利益		1,356	6.6

## (要約) 前中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 〔自 平成 19 年 4 月 1 日〕 〔至 平成 19 年 9 月 30 日〕
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前中間(当期)純利益	2,450
2 減価償却費	559
3 長期前払費用償却費	—
4 受取利息、有価証券利息及び受取配当金	△147
5 固定資産除売却損益 (益: △)	9
6 ゴルフ会員権評価損	—
7 売上債権の増減額 (増加: △)	△361
8 たな卸資産の増減額 (増加: △)	△110
9 仕入債務の増減額 (減少: △)	241
10 長期未収入金の増減額 (増加: △)	—
11 未払金の増減額 (減少: △)	691
12 その他	638
小計	3,972
13 利息及び配当金の受取額	148
14 法人税等の支払額	△1,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,831
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	△50
2 定期預金の払戻による収入	2,050
3 有価証券の取得による支出	—
4 有価証券の売却及び償還による収入	697
5 有形固定資産の取得による支出	△467
6 無形固定資産の取得による支出	△74
7 投資有価証券の取得による支出	△1,398
8 投資有価証券の売却及び償還による収入	293
9 その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,050

	前中間会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
区分	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 自己株式の取得による支出	△1
2 配当金の支払額	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	3,512
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	36,073
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	39,585



## 2009年3月期 第2四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況	
1. 経営成績	.....	P.1	1. 四半期貸借対照表	..... P.5,6
2. 財政状態	.....	P.1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	..... P.7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	..... P.8
1. 四半期損益計算書	.....	P.2		
2. 製商品売上高	.....	P.3		
3. 売上原価	.....	P.4		
4. 減価償却費	.....	P.4		
5. 研究開発費	.....	P.4	【予想数値に関する注意事項】	..... P.8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

2008年10月30日

# I. 主な経営指標等の推移

## 1. 経営成績

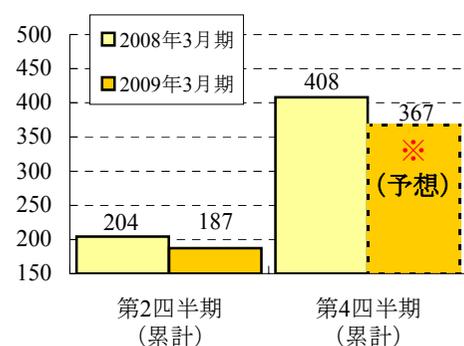
(単位:百万円)

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1四半期	第2四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (累計)	第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
売上高	10,325	20,434	32,179	40,845	18,762	△ 1,671 (△ 8.2)
営業利益	1,734	2,346	5,018	5,139	2,541	195 (8.3)
経常利益	1,796	2,467	5,250	5,496	2,718	251 (10.2)
四半期(当期)純利益	988	1,356	2,853	2,967	1,923	566 (41.8)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.93	47.91	100.81	104.83	67.94	20.03 (41.8)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.5	2.0	4.2	4.3	2.7	0.7
総資産経常利益率 (%)	2.3	3.1	6.7	7.0	3.4	0.3
売上高営業利益率 (%)	16.8	11.5	15.6	12.6	13.5	2.0

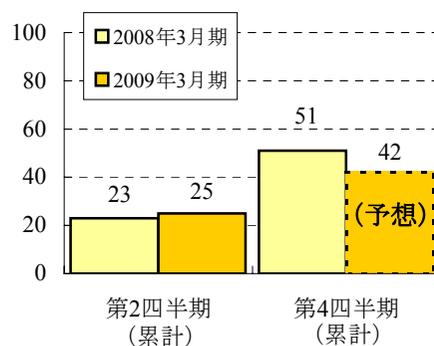
(単位:百万円)

2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)
※ 36,700	△ 4,145 (△ 10.1)
4,200	△ 939 (△ 18.3)
4,500	△ 996 (△ 18.1)
2,900	△ 67 (△ 2.3)
102.46	△ 2.37 (△ 2.3)
—	—
—	—
—	—

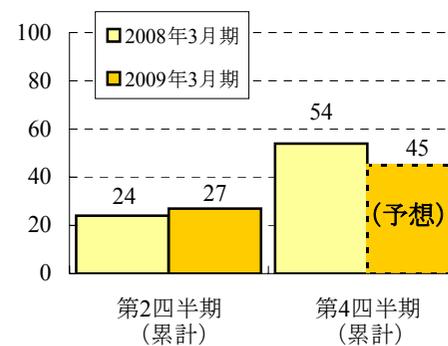
売上高(億円)



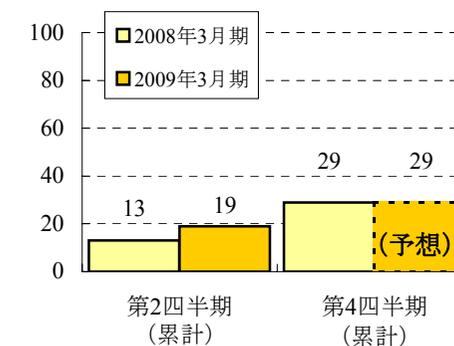
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



## 2. 財政状態

(単位:百万円)

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第2四半期	対前期末増減(率:%)
総資産	77,093	79,365	79,737	80,439	79,547	△ 891 (△ 1.1)
純資産	68,156	68,483	69,603	69,759	71,013	1,254 (1.8)
自己資本比率 (%)	88.4	86.3	87.3	86.7	89.3	2.6
1株当たり純資産 (円)	2,407.90	2,419.48	2,459.08	2,464.58	2,508.95	44.37 (1.8)

※ 2009年3月期予想の売上高については予想数値を修正しております。

## II. 損益の状況

### 1. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期		2008年 3月期	対前年同期増減要因
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)		
売上高	20,434	18,762	△ 1,671 (△ 8.2)	40,845	
製商品売上高	20,287	18,615	△ 1,671 (△ 8.2)	40,550	【製商品売上高】 《増加要因》・ツルバダ錠、ドボネックス軟膏等の伸長 《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了、注射用フサンの減少
不動産賃貸収入	147	146	△ 0 (△ 0.4)	294	
売上原価	8,024	6,967	△ 1,056 (△ 13.2)	16,249	
製商品売上原価(注)	7,991	6,933	△ 1,057 (△ 13.2)	16,182	【製商品売上原価】 《減少要因》・売上高の減少等
不動産賃貸原価	33	34	1 (3.6)	66	
売上総利益	12,410	11,795	△ 615 (△ 5.0)	24,595	
販売費及び一般管理費	10,063	9,253	△ 810 (△ 8.1)	19,455	【販売費及び一般管理費】 《減少要因》・研究開発費の減少等
営業利益	2,346	2,541	195 (8.3)	5,139	
営業外収益	165	179	13 (8.2)	414	
営業外費用	45	2	△ 42 (△ 93.5)	56	
経常利益	2,467	2,718	251 (10.2)	5,496	
特別利益	—	600	600	—	【特別利益】 《増加要因》・(株)ミノファーゲン製薬との取引基本契約の段階的終了に伴う一時金
特別損失	16	112	95 (576.4)	118	
税引前四半期(当期)純利益	2,450	3,206	755 (30.8)	5,378	
法人税等	1,094	1,283	188 (17.3)	2,411	
四半期(当期)純利益	1,356	1,923	566 (41.8)	2,967	

(注) 従来、区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」及び「返品調整引当金繰入額」は、金額的重要性が乏しいため当事業年度より「製商品売上原価」に含めて記載しております。なお、前期の数値につきましても同様に組み替えて記載しております。

## 2. 製商品売上高

(単位:百万円)

(単位:百万円)

品名	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期		2008年 3月期	2009年3月期予想	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)	
注射用フサン ※	蛋白分解酵素 阻害剤 5,628	4,702	△ 925 (△ 16.5)	11,060	9,210	△ 1,850 (△ 16.7)
アンテベート ※	外用副腎皮質 ホルモン剤 2,714	2,846	132 (4.9)	5,351	5,640	288 (5.4)
ツルバダ錠	抗ウイルス化学療法剤 (抗HIV薬) 1,201	1,912	711 (59.2)	2,732	4,160	1,427 (52.2)
ユリノーム錠 ※	尿酸排泄薬 (痛風治療剤) 1,839	1,829	△ 9 (△ 0.5)	3,653	3,640	△ 13 (△ 0.4)
ウブレチド錠 ※	重症筋無力症 ・排尿障害治療剤 1,027	989	△ 37 (△ 3.7)	2,030	1,970	△ 60 (△ 3.0)
ゼフナート	抗真菌薬 586	798	212 (36.2)	993	1,250	256 (25.8)
ドボネックス軟膏	尋常性乾癬治療剤 124	670	545 (437.8)	465	1,560	1,094 (235.4)
グリチロン錠(注2)	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 666	622	△ 44 (△ 6.7)	1,303	620	△ 683 (△ 52.4)
ロコイド ※	外用副腎皮質 ホルモン剤 603	620	16 (2.8)	1,172	1,220	47 (4.1)
ビオスリー	活性生菌製剤 (整腸剤) 550	617	67 (12.2)	1,181	1,230	48 (4.1)
セロトーン	制吐剤 568	555	△ 12 (△ 2.2)	1,147	1,090	△ 57 (△ 5.0)
強力ネオミノファーゲンシー (注2)	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 2,345	△ 14	△ 2,359 (△ 100.6)	4,453	—	△ 4,453 (△ 100.0)
その他	2,431	2,463	31 (1.3)	5,004	4,860	△ 144 (△ 2.9)
計	20,287	18,615	△ 1,671 (△ 8.2)	40,550	36,450	△ 4,100 (△ 10.1)

(注1) 自社品には、品名に※を付しております。

(注2) 株式会社ミノファーゲン製薬との取引基本契約の合意解約により「強力ネオミノファーゲンシー」は2008年3月末に、「グリチロン錠」は2008年9月末に販売を終了しております。

【参考】 自社品売上高	12,637	11,870	△ 767 (△ 6.1)	24,968	23,420	△ 1,548 (△ 6.2)
自社品比率(%)	62.3	63.8	1.5	61.6	64.3	2.7

### 3. 売上原価

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
売上高	20,434	18,762	△ 1,671 (△ 8.2)
売上原価	8,024	6,967	△ 1,056 (△ 13.2)
売上原価率(%)	39.3	37.1	△ 2.2 —

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	対前期増減(率:%)
40,845	36,700	△ 4,145 (△ 10.1)
16,249	13,500	△ 2,749 (△ 16.9)
39.8	36.8	△ 3.0 —

### 4. 減価償却費

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
不動産賃貸原価	16	18	1 (7.1)
販売費及び一般管理費	206	204	△ 1 (△ 0.9)
製造費用	336	408	72 (21.6)
計	559	631	71 (12.9)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	対前期増減(率:%)
34	38	4 (12.2)
419	435	15 (3.8)
766	878	112 (14.7)
1,220	1,352	132 (10.9)

### 5. 研究開発費

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
研究開発費	1,181	461	△ 720 (△ 61.0)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	対前期増減(率:%)
1,828	1,257	△ 571 (△ 31.3)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤形改良や追加効能等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

### Ⅲ. 財政の状況

#### 1. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年 3月期	2009年3月期 第2四半期		2008年 3月期 第2四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
(資産の部)					
流動資産	60,458	61,010	551 (0.9)	60,364	
現金及び預金	6,085	5,466	△ 619	8,964	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	30,959	32,562	1,602	27,676	
受取手形及び売掛金	15,308	14,228	△ 1,080	15,424	【受取手形及び売掛金】 《減少要因》・売上高の減少等
有価証券	3,394	4,192	797	3,893	【有価証券】 《増加要因》・金融商品の取得
たな卸資産	3,903	3,546	△ 356	3,677	
その他	807	1,015	207	727	
固定資産	19,980	18,537	△ 1,442 (△ 7.2)	19,000	
有形固定資産	6,839	6,840	1 (0.0)	6,575	
建物	3,658	3,601	△ 57	3,706	
機械及び装置	1,589	1,496	△ 92	1,085	
土地	1,189	1,189	—	1,189	
その他	402	554	151	594	
無形固定資産	908	790	△ 118 (△ 13.0)	1,009	
投資その他の資産	12,232	10,906	△ 1,325 (△ 10.8)	11,414	【投資有価証券】 《減少要因》・金融商品の償還
投資有価証券	4,565	3,051	△ 1,513	5,060	
その他	7,698	7,886	188	6,385	
貸倒引当金	△ 31	△ 31	△ 0	△ 31	
資産合計	80,439	79,547	△ 891 (△ 1.1)	79,365	

(注) キャッシュ・マネージメント・システムとは、JTグループにおける国内グループ会社を対象とした資金の一元管理を目的とするシステムです。

(単位:百万円)

	2008年 3月期	2009年3月期 第2四半期		2008年 3月期 第2四半期
		対前期末増減(率:%)		
<b>(負債の部)</b>				
流動負債	9,649	<b>7,525</b>	△ 2,123 (△ 22.0)	9,781
買掛金	4,458	<b>2,986</b>	△ 1,472	4,382
未払法人税等	1,492	<b>1,428</b>	△ 63	1,174
賞与引当金	1,085	<b>1,154</b>	69	1,145
返品調整引当金	3	<b>3</b>	0	3
その他	2,609	<b>1,951</b>	△ 657	3,075
固定負債	1,030	<b>1,008</b>	△ 21 (△ 2.1)	1,099
退職給付引当金	598	<b>583</b>	△ 15	668
預り敷金保証金	339	<b>339</b>	0	339
長期未払金	92	<b>85</b>	△ 6	92
負債合計	10,679	<b>8,534</b>	△ 2,145 (△ 20.1)	10,881
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本	69,292	<b>70,733</b>	1,441 (2.1)	68,049
資本金	5,190	<b>5,190</b>	— (—)	5,190
資本剰余金	6,416	<b>6,416</b>	— (—)	6,416
資本準備金	6,416	<b>6,416</b>	—	6,416
利益剰余金	58,538	<b>59,980</b>	1,441 (2.5)	57,295
利益準備金	1,297	<b>1,297</b>	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	10	<b>9</b>	△ 0	4
別途積立金	54,230	<b>56,230</b>	2,000	54,230
繰越利益剰余金	3,000	<b>2,443</b>	△ 557	1,764
自己株式	△ 852	<b>△ 853</b>	△ 0 (0.1)	△ 851
評価・換算差額等	466	<b>280</b>	△ 186 (△ 40.0)	433
その他有価証券評価差額金	466	<b>280</b>	△ 186 (△ 40.0)	433
純資産合計	69,759	<b>71,013</b>	1,254 (1.8)	68,483
負債・純資産合計	80,439	<b>79,547</b>	△ 891 (△ 1.1)	79,365

## 対前期末増減要因

【買掛金】  
《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う  
商品仕入の減少

【その他有価証券評価差額金】  
《減少要因》・時価評価益の減少

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2008年3月期	2009年3月期		2008年 3月期	対前年同期増減要因
	第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)	対前年 同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	2,450	3,206	755	5,378	
減価償却費	559	631	71	1,220	
受取利息及び受取配当金	△ 147	△ 167	△ 19	△ 306	
売上債権の増減額(△は増加)	△ 361	1,080	1,441	△ 245	【売上債権の増減額】 《増加要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う 売掛金の減少
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 110	356	466	△ 335	
仕入債務の増減額(△は減少)	241	△ 1,472	△ 1,713	317	【仕入債務の増減額】 《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う 買掛金の減少
利息及び配当金の受取額	148	174	25	304	
法人税等の支払額	△ 1,290	△ 1,335	△ 45	△ 2,654	
その他	1,340	△ 867	△ 2,207	△ 347	【その他】 《減少要因》・未払金の減少及び未収入金の増加
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,831	1,606	△ 1,224	3,332	
定期預金の預入による支出	△ 50	—	50	△ 100	
定期預金の払戻による収入	2,050	50	△ 2,000	2,100	
有価証券の取得による支出	—	△ 996	△ 996	—	
有価証券の売却及び償還による収入	697	893	195	697	
有形固定資産の取得による支出	△ 467	△ 502	△ 35	△ 1,185	
有形固定資産の売却による収入	—	—	—	2	
無形固定資産の取得による支出	△ 74	△ 34	40	△ 139	
投資有価証券の取得による支出	△ 1,398	—	1,398	△ 1,398	
投資有価証券の売却及び償還による収入	293	500	207	845	
その他	0	△ 1	△ 2	△ 1	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,050	△ 90	△ 1,141	821	
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 0	0	△ 1	
配当金の支払額	△ 367	△ 481	△ 113	△ 735	【配当金の支払額】 《減少要因》・期末配当金の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 368	△ 481	△ 112	△ 737	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,512	1,033	△ 2,478	3,416	
現金及び現金同等物の期首残高	36,073	39,489	3,146	36,073	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	39,585	40,523	937	39,489	

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネジメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

## IV. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	2008年3月期 第2四半期 (累計)	2009年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
有形固定資産	537	488	△ 48 (△ 9.0)
無形固定資産	60	44	△ 16 (△ 27.1)
計	597	532	△ 64 (△ 10.9)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
1,330	958	△ 371 (△ 27.9)
119	145	26 (22.1)
1,449	1,104	△ 345 (△ 23.8)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とする情報システムへの投資であります。

## 【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク